

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40 (1 5)	施設長も管理者、職員も食事を大切に考えている。今後も日々の献立内容の栄養バランスやカロリー等の検証方法を検討し、より良い食事内容にしていく予定である。	利用者様中心の献立内容で栄養バランスの取れた献立内容を今後も全スタッフで取り組み、より良い食事内容にしていきます。	現在の献立内容等の検討するにあたり、担当職員を選出し、その担当者を中心に献立内容の改善と共に調理担当勤務者の業務も一緒に業務改善を行います。また、期間を設定し、検証と振り返りと改善を繰り返しより良い食事内容にしていく予定です。	12 ヶ月
2	11 (7)	管理者は職員個々の得意な事などを理解している。今後も日々の業務を見直し、職員の更なる役割分担を明確にしていくと共に、レク等を含めた職員個々の特技を発揮していただく予定である。	スタッフ個々の得意分野を活かし更なる役割分担を明確にしていきながら日々の業務を見直し、更なる業務改善に取り組んで参ります。	日々の業務の見直しを振り返りを行いながら今後長期的に取り組んで参ります。またスタッフ個々の得意分野をアンケートや面談を行い把握し、更なる役割分担を明確にししながら、まずは、入浴介助について業務改善に取り組んで参ります。	12 ヶ月
3	2 (2)	地道に地域交流を続けてこられたが、コロナ禍で交流の機会が減っている。今後も地域と共に共生社会に向けた取り組みや勉強をできればと願っており、保育園児と窓越しの交流や、ビデオレター交流等の方法を検討していく予定である。	このコロナ禍においてもできる地域交流を模索、探求し、今後も地域と共に共生社会に向けた取り組みや認知症について勉強ができるよう、やり方(方法)を検討し、取り組んで参ります。	今後、コロナの状況を見ながら、今後できそうな地域交流についてスタッフ全員で取り組んで参ります。まずは保育園児との交流として、利用者様と作った作品を贈呈やビデオレター交流として保育所との連携を取り検討し取り組んでいきたいと思ひます。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月